

市民公開シンポジウム

日本作物学会第262回講演会

# 不安定な食料安全保障情勢に向けた 北海道農業の果たす役割

## 気象変動と担い手不足に対処する北海道農業の新たな挑戦！

開催日時 令和8年9月16日(水)13:15~16:45

開催場所 酪農学園大学 学生ホール(ハイブリット開催)  
ZOOMリモート参加可(最大400名)  
当日参加も可 人数が多い場合立見の可能性あり



1. 需給バランスを 揺るがす国内外の情勢  
(酪農学園大学 吉岡徹)
2. 北海道の収量向上の歴史と生産量の推移、  
および近年の情勢に向けた技術的対策
  - [1] イネ
    - a) 省力化技術(酪農学園大学 林怜史)
    - b) 温暖化対策(北海道立総合研究機構  
上川農業試験場 熊谷聡)
  - [2] コムギ(北海道小麦技術事務所  
代表 池口正二郎)
  - [3] 子実用トウモロコシ  
(日本メイズ生産者協会 代表理事 柳原孝二)
  - [4] 新規作物
    - a) ラッカセイ(帯広畜産大学 秋本正博)
    - b) サツマイモ(元拓殖短期大学 大道雅之)
3. パネルディスカッション  
コーディネーター：秋本正博 (帯広畜産大学)



酪農学園大学  
〒069-8501  
江別市文京台  
緑町582-1

正門



共催：酪農学園大学、日本育種学会・日本作物学会  
北海道談話会  
後援：江別市 問合せ先：cssj262@gmail.com  
011-387-4785

事前  
予約  
必要

